

自己紹介

- 中塚 義道(なかつか よしみち)
- 現職:ETH Zurich ポスドク
- 専門:システムセキュリティ
 - Confidential Computing



採択された論文の研究概要

- 論文: [An Empirical Study & Evaluation of Modern CAPTCHAs](#)
 - Usenix Security 2023
- 様々な種類のCAPTCHAのユーザビリティ
 - 解くスピードを媒体

本研究の注目点

- ユーザスタディのバイアスは影響を及ぼすか？
- スタディの参加者の年齢・学歴等は影響を及ぼすか？
- スタディの参加者の何割は放棄するか？何が影響しているか？
- 人間と機械、どちらが早く、正確に解けるか？

採択に至るまでのスケジュール: レビューの流れ



採択に至るまで: 費やした時間、実験回数など

- 研究開始: 2020年11月頃、採択: 2023年5月 → 2年半かかった。
- リジェクトされた会議: IEEE S&P 2022、PoPETS 2022、ACM CCS 2022
- 実験回数: 6回
 - ユーザスタディのバイアスを変えた実験: 2回
 - ユーザスタディのバイアスを変えつつ放棄率を計測した実験: 2回
 - ユーザスタディのバイアスを変え、報酬を 2倍にし、放棄率を計測した実験: 2回

レビュアーに指摘された箇所

- MTurkを使用したことの正当性
 - 収集したデータの品質への疑問
 - 代替案: [Prolific](#)
- Alexa top listを使用したことの正当性
 - 引退したサイトのデータを使用することへの疑問
 - 代替案: [Tranco](#)、[Cloudflare Radar Domain Rankings](#)
- 放棄率が高いことの懸念
 - 収集したデータは放棄しなかった参加者に偏っていないか
- 報酬の正当性
 - アメリカの最低賃金を満たしていないとの指摘
- 過去の研究との比較
 - 同じ点、異なる点が分かりにくい

投稿の心得

- トップ会議は採択への道のりが長い
 - ゆっくり焦らずに進む
- ユーザビリティ研究に理解のある会議を選ぶ
 - 投稿者も査読者も困る
- 新規性のおし方
 - スタディで出すのは難しい
 - データで出す